

# 牟佐げんき通信 Vol.29

発行日：令和2年7月1日  
発行：特別養護老人ホーム牟佐げんき  
岡山市北区牟佐1479-1  
文責者：施設長 重實剛  
編集：行事・広報委員会

コロナ禍・・・ご存知の通り、コロナ「禍か」と読みます。この「禍」は「わざわい」と読むこともでき、読んで字のごとく「災い」と同じような意味となります。そして「禍」を使った、こんなことわざがあります。禍を転じて福と為すこれは、ご存知の通り「普通の意味ではマイナスと考えられる事柄でも、大所高所に立って対処し、それをプラスの方向に持っていく。」(出典：新明解国語辞典 第七版)という意味です。これに倣って、「コロナ禍」を「福」へと変えられる・・・そう信じて牟佐げんきは、2月27日から現在まで120日以上、新型コロナウイルス感染症への日々の恐怖に「耐え」、感染症対策を「徹底」し、職員自身が私生活も「自粛」し、現在までご利用者の介護をさせていただきました。まだまだ気を緩めるわけにはいきませんし、間もなく迎える盛夏の暑さにマスク着用での介護は本当に大変だと予想されますが、少しだけ休憩しつつ、息抜きを上手にしながらこれからも我々の仕事「介護」を粛々と続けていこうと思います。

今回は、玄関の靴裏の消毒、施設内の日々の消毒、換気チェック、玄関先でのご家族とのやり取り、アクリル板手作り面会衝立等々を公開いたします。ぜひ、画像を通して牟佐げんきでの新型コロナウイルス感染症対策をご確認ください。

最後に、これらの感染症対策が日々実践できているのは「牟佐げんき職員」の努力の賜物です。職員一人一人に感謝以外ありません。そういった職員の努力も是非評価いただきたいと思います。広報誌をご覧の皆様も、どうかご健康でおられますように。今後とも牟佐げんきをよろしく願います。  
令和2年7月1日 牟佐げんき 施設長 重實剛



## お知らせ

毎年海の日に開催を予定しておりました「夕涼み会」は新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から中止させていただきます。楽しみにされていたご利用者やご家族、また近隣の皆様そして御協力頂いておりましたボランティアの方々には、心からお詫び申し上げます。新型コロナウイルス感染症が終息して、来夏の「夕涼み」が、2年分楽しい祭りとなる様願っています。



## お茶会

今年は、新型コロナウイルスの影響で各ユニットにて、開催しました。久しぶりの抹茶はやっぱり美味しいですね！^^)

